

あけぼの子ども森公園 童話の世界へようこそ

あけぼの子ども森公園は、「平成記念子供のもり公園」として国から指定を受け、飯能市が建設して平成9年7月に開園しました。

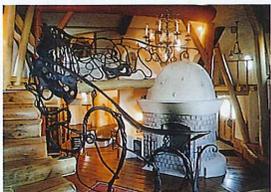
子どもたちが、飯能の自然に囲まれたこの公園で楽しく遊びながら、さまざまな体験を通してそれぞれ独自の個性を伸ばし、仲間を思いやる心をもって成長していくことを願っています。



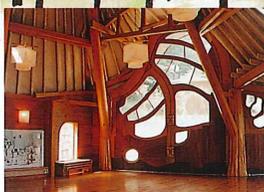
飯能産西川材のひのき丸太を縦に連ねて波打つような壁にした建物です。1階は資料展示コーナー、2階は図書コーナーで、絵本など読書を楽しむことができます。



あけぼの杉林



訪れる人を家族の一員として暖かく迎えられる「家」をイメージした建物です。1階には暖炉がある「いこいの広間」があり、2階は小部屋などがある不思議な空間になっています。地下は工房です。



樹齢百年以上のひのき丸太がドーム状の屋根を支える木造のホールで、小規模のコンサートや演劇公演ができます。下の階は池の水音が響く洞窟を思わせる空間で、管理事務所とトイレがあります。



もり しぜん い もの
森は、自然の生き物のすみかです！
 ここは自然の森に囲まれた公園です。ときどき、ハチやヘビなどがでてくることがありますが、みんな大切な自然の仲間なのです。どんな生き物がどのように危ないのかをおぼえて、近づかないようにしましょう。
 もり おく がけ おく はい
森の奥は崖です。奥まで入らないでください。

公園を子どもの豊かな遊び場に。

遊び場は、子どもが自分の力を見つけ、成長していく場です。遊びを通じて限界に挑戦したり、危険について学ぶことは、成長する上で欠かせないものになります。

安全を重視するあまり、遊び場から冒険遊びを一律に奪ってしまうことは、子どもの意欲や冒険心の芽を摘んでしまうことになります。



遊び場は「冒険への挑戦」の場です。



公園では、公園管理者が子どもに予測できず、大きな事故につながる可能性のある危険は取り除く必要があります。

しかし一方で、公園は子どもが新しい体験や小さな冒険に、自分の責任で挑戦することのできる自由な遊び場でもあるのです。

子どもは、体験や失敗をくり返すことで危険を予知し、対処する力を身につけていきます。

挑戦を見守って事故を防ぎましょう。

「冒険への挑戦」が事故につながるのは、子どもが自分の能力を超える危険を冒してしまったときです。しかし、危険度は個々の年齢や経験によって異なるので、公園管理者が冒険遊びを一律に規制することはできません。

そこで、保護者の役割として、その子の能力に応じて助言したり、挑戦を背後から見守って、子どもを過度の危険や事故から守ることが必要になります。

公園利用者と管理者がそれぞれの役割と責任を理解し、「自分の責任で自由に遊ぶ」という子どもの遊び場のルールを共有して、あけぼの子ども森公園を、子どもにとって楽しく豊かな遊び場にしていきましょう。



遊ぶ子どもを見守ろう。

公園内、建物内には、子どもの年齢や経験によっては危ない場所もあります。特に、乳幼児や年少児には、必ず保護者が付き添って遊んでください。

草木や生き物を大切にしよう。

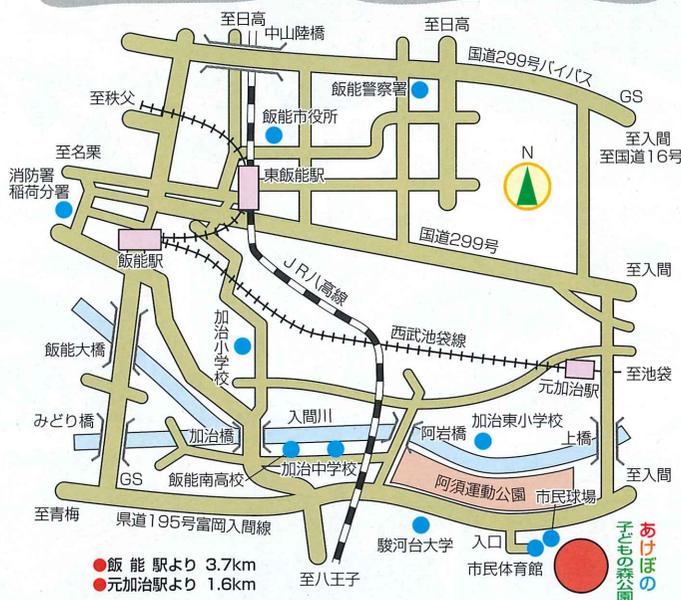
大切な自然を、いつまでも残していきましょう。

ごみは持ち帰ろう。

みなさんのご協力で、ごみのない公園にしましょう。

「公園内禁煙」を守ろう。

子どもたちの健康のため、そして建物や山林の火災を防ぐために、公園内での喫煙はご遠慮ください。



あけぼの子ども森公園利用案内

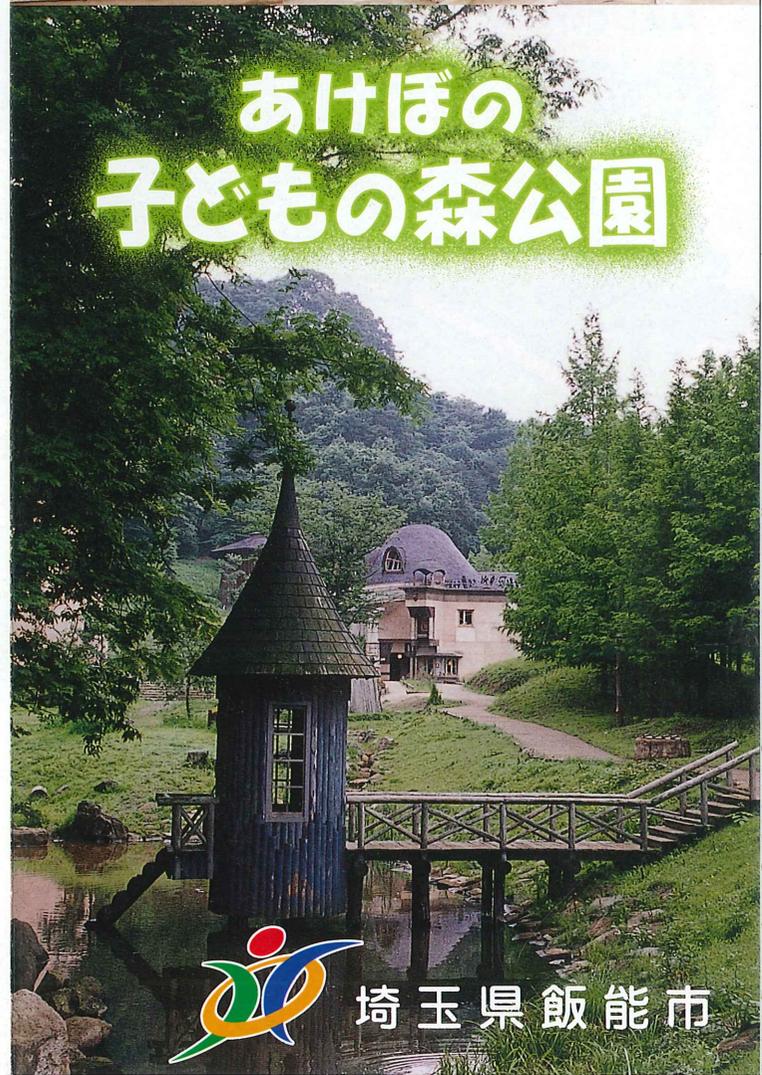
開園時間 午前9:00～午後5:00

休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日のときは、その翌日)
年末年始 (12/28～1/4)

〒357-0046 埼玉県飯能市大字阿須893-1
TEL 042(972)7711 FAX 042(972)7220
<http://www.city.hanno.saitama.jp>



あけぼの 子どもの森公園



埼玉県飯能市